様式第1号(第2条、第3条関係)

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 　 | 新規 | 更新 | 変更 | 第　　　号年　　月　　日 |
| 道路占用 | 許可申請協議 | 書 | 年　　月　　日　 |
| 　　神川町長　　　　様　　　　　　　　　　　　　 郵便番号住所　　　　　　　　　　　　氏名　　　　　　　　　　　　担当者 (連絡先) 氏名　　　　　電話　　　　　 |
| 道路法第32条第35条 | の規定により | 許可を申請協議 | します。 |
| 占用の目的 | 　 |
| 占用の場所 | 路線名 | 　 | 車道・歩道・その他 |
| 場所 | 　 |
| 占用物件 | 名称 | 規模 | 数量 |
| 　 | 　 | 　　 |
| 占用の期間 | 　　年　　月　　日から　　年　　月　　日まで | 間 | 占用物件の構造 | 　 |
| 工事の期間 | 　　年　　月　　日から　　年　　月　　日まで | 間 | 工事実施の方法 | 　 |
| 道路の復旧方法 | 　 | 添付書類 | 　 |
| 施工業者名 | 　 | 備考 | 　 |
| 　 |
| 第　　　　　号　年　　月　　日　神川町長　　　　　　　　　上記道路占用許可申請・協議(新規・更新・変更)については、別紙条件により次のとおり許可・回答します。 |
| 占用物件の種類及び数量 | 　 |
| 占用期間 | 年　　月　　日から　　　　　年　　月　　日まで　　 |
| 占用料 | 　 |

許可条件

　1　工事に当たっては、道路法施行令第12条の規定に添い、神川町役場の指示に従い竣工後は検査を受けること。

しゆん

　2　工事現場には、柵又は覆いを設け、夜間は黄色灯をつけ、その他の危険防止のために必要な処置を講ずること。

　3　掘削に際しては、他の構造物に支障を及ぼさないように留意をするとともに掘削土及び残土は路上に放置せず、速やかに整理すること。

　4　埋戻しは発生土を使用せず、底部から切込砕石又は再生砕石を転圧し、上部20cmは粒調砕石にて敷均し、後日沈下の生じないように確実に施工すること。

　5　横断箇所は片側ずつ施工し、交通に支障のないよう充分注意すること。

　6　道路に関する工事による除去移転改築の命令を受けた場合には、それに要する費用は占用者の全額負担とする。

　7　工事用材料及び機械器具等は、常に整理し交通の妨げにならないように注意すること。

　8　本工事に起因して、既設工作物に損傷を与えた場合は申請者の負担で原形復旧すること。

記載事項

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　1 | 「 | 許可申請協議 | 」、 | 「 | 第32条第35条 | 」及び | 「 | 許可を申請協議 | 」については、該 |

　　当するものを○で囲むこと。

　2

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 　 | 新規 | 更新 | 変更 | については、該当するものを○で囲み、更新、変更の場合には、 |

　従前の許可書又は回答書の番号及び年月日を記載すること。

　3　申請書が法人である場合には、「住所」の欄には主たる事務所の所在地、「氏名」の欄には名称及び代表者の氏名を記載するとともに、「担当者」の欄に所属・氏名を記載すること。

　4　「場所」の欄には、地番まで記載すること。占用が2以上の地番にわたる場合には、起点と終点を記載すること。

　　「車道・歩道・その他」については、該当するものを○で囲むこと。

　5　変更の許可申請にあっては、関係する欄の下部に変更後のものを記載し、上部に変更前のものを(　　)書きすること。

　6　「添付書類」の欄には、道路占用の場所、物件の構造等を明らかにした図面その他必要な書類を添付した場合に、その書類名を記載すること。